

16世帯中、15世帯の皆様から回答をいただきました。

※ は、幼稚園からの所見及び学校関係者評価委員の助言

1 本園の教育について

- (1) お子さんは、楽しく幼稚園へ通っていますか。
はい(80%) まあまあ(20%) あまり(0%) いいえ(0%)
- (2) 基本的生活習慣(食事・排泄・衣服の着脱・清潔習慣など)が育っていると思いますか。
はい(67%) まあまあ(33%) あまり(0%) いいえ(0%)
- (3) 友達との関係が豊かになっていると思いますか。
はい(60%) まあまあ(40%) あまり(0%) いいえ(0%)
- (4) 預かり保育についてご意見、ご希望等がありましたらお聞かせください。
- いろいろなおもちゃがあるので、預かりの時間はとても楽しいようだ。
 - リフレッシュも可能になってとてもありがたい。
 - 本人がやりたいと思えるほど楽しめているので良いと思う。料金もおやつ付きで預けやすい。
 - 16時まで預かりがあるので、とても助かっている。いつも利用している。
 - 長期の休み中も預かりがあるので、とても助かった。

○ 昨年度は、平常時の預かり時間を16時までにししました。今年度からは、長期休業中の預かりを9時～16時までにして、年々、預かり時間の拡充を図ってきました。保護者の方の利用の幅が広がったようです。

- (5) 給食弁当について2学期から4歳児も5歳児と同じ、週2回実施しています。
ご意見をお聞かせください。

- 週1～2回、給食弁当の日があって助かっている。とてもいいと思う。(2名)
- 小学校の給食の練習にもなるので、いいと思う。(2名)
- 3歳児も実施してもらい、うれしい。食べきれなくても、いろいろな食材に、友達と一緒に挑戦してほしい。
- いろいろな食べ物に興味を持つようになり、食べてみようという気持ちが育っている。
- 子どもの給食弁当にしては、渋いと思うことがあったが、家で食べない物も食べてくれている。

- 給食弁当については、子どもたちが、いろいろな食材・味付けに慣れ、友達と同じものを食べることで、少しでも偏食を減らし、学校給食へとスムーズに移行できることを目的としています。
- 今年度は、来年度の認定こども園の給食に向けて、3歳児も給食弁当を始めました。残食もありますが、いろいろな食材を味わってもらいたいです。

2 幼稚園の行事についてどう思われますか

- (1) お子さんは園行事（運動会・発表会・誕生会・遠足など）に楽しく参加できていますか。
はい（80％） まあまあ（20％） あまり（0％） いいえ（0％）
- (2) 保護者参加の活動について（夏祭り・運動会・家庭教育学習会など）どう思われますか。
よい（60％） まあまあ（40％） あまり（0％） よくない（0％）
- (3) 幼稚園の行事についてお気付きの点がありましたらお聞かせください。
- 保護者参加が多すぎて、仕事との両立が大変だった。
 - PTA の負担が大きい。
 - 閉園にもなるので、思い出に残るような、行事や集まりがあってもいいと思う。

- 園行事とPTA活動を合わせると参加の数が増えてしまったようです。園児数の減少により、保護者の方や役員さんをお願いすることが多くなり、申し訳ありませんでした。
- 3月に閉園式を予定しています。保護者の方や子どもたちの思い出に残る式になるように計画を立てています。

3 幼稚園と家庭・地域との連携についてどう思われますか

- (1) 幼稚園での様子は、おたよりや行事報告（掲示物）などを通して、家庭に伝わっていますか。
はい（87％） まあまあ（13％） あまり（0％） いいえ（0％）
- (2) 教育活動や園生活において困ったこと、心配なことを担任または園長に相談できますか。
はい（60％） まあまあ（33％） あまり（7％） いいえ（0％）
- (3) 子育てについて、気軽に話ができる保護者が園内にいますか。
たくさんいる（47％） 1人か2人（40％） いない（13％）
- (4) PTA活動や、地域との連携について、ご自由にご意見をお聞かせください。
- 世帯数が減っているから、協力し合って、助け合っていけばいいと思う。
 - 役員さんたちのおかげで、子どもたちも楽しく過ごすことができ、感謝している。（2名）
 - 急な集まり（強制ではないが）けっこうあったので、少し困った。ほぼみんな参加しているので、不参加にできにくかった。（2名）
 - PTA活動は、保護者の負担が大きいので縮小すべきだと思う。
 - 卒園した保護者がよく参加していたが、最初は誰なのか分からなかった。卒園した保護者全員に声を掛けているのならいいが、いつも一部の人だけだった。

- いつもPTA活動にご協力をいただき感謝しております。
- 幼稚園最後の年ということもあり、例年よりもPTAの活動が多くなり、ご負担をお掛けしました。おかげさまで、子どもたちにたくさんの楽しい思い出を作ることができました。ありがとうございました。
- 卒園した保護者の方の参加につきましては、ボランティアとしてお手伝いを申し出ていただきました。世帯数も減ってきていますので、園側としてもありがたく、申し出をお受けしました。園側からボランティアの依頼はいたしません、状況に応じて、申し出がありましたらよろこんでお受けいたします。

4 園の安全や設備についてどう思われますか

- (1) 本園の安全面（避難訓練・交通安全指導・感染症対策、連絡体制）について対策を講じていると思いますか。

はい（53%） まあまあ（47%） あまり（0%） いいえ（0%）

- (2) 幼稚園として改善すべき点がありましたらご自由にお書きください

○ 誰でも園内に入ろうと思えば、入れるなと思っていた。

○ 以前、門扉を施錠することを検討しましたが、来客のたびに解錠することが難しく、現状のままになっています。

5 その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください

○ ●年間、大変、お世話になりました。

○ 連絡などは、保護者のライングループではなく、連絡アプリを利用した方がよいと思う。欠席の連絡もできるし、先生の負担も減るのではないかな。

○ 預かり保育のない日は、仕事の都合があるので、早めに知らせてほしい。（時間や行事なども）

○ 体操服など自分でたんでかばんに入れたり、靴を脱いだらそろえたりするなどの片づけを指導してほしい。

○ ラインにつきましては、保護者の方の連絡ツールです。幼稚園からの連絡事項は、玄関のホワイトボードや靴箱前のボードへ掲示した物とおたよりばさみでの文書になります。

保護者と園とのやり取りができるもの（欠席連絡など）は、しっかりとしたセキュリティのあるものが必要となり、現時点での利用は難しいです。

○ 早めのお知らせにつきましては、ご迷惑をお掛けしました。「預かりなし」は、毎月15日～20日をめどに掲示していましたが、行事が決定してからになりますので、お知らせが遅くなった月もありました。申し訳ありませんでした。

行事につきましては、毎月25日の園だよりで翌々月の行事予定を載せておりますが、変更になる場合もあり、ご迷惑をお掛けしました。

○ 個々に応じて、基本的な生活習慣の確立を目指して、保育を進めています。ご指摘くださったことを気付けて保育していきます。

令和6年度 学校評価

内部評価

自己評価チェックリスト A はい B だいたい C あまり D いいえ

	項 目	評 価
1	・教育課程は幼児の実態に即し、実践につながるような内容になっていますか	B
2	・指導計画はクラスや幼児の実態、日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して作成していますか。	A
3	・幼児の活動の展開に合わせて援助の仕方が具体的に指導計画に書きこまれていますか。また、その反省、評価が次の計画にいかせていますか。	B
4	・季節や幼児の発達段階に合わせて、保育室の環境を工夫していますか。	A
5	・交通安全の習慣や危険な場所・危険遊びがわかり、安全に気をつけて行動するように指導していますか。	A
6	・災害時の避難方法や不審者の侵入に際してあなたがどのように対応するか理解していますか。	A
7	・幼児が教師と安心して過ごし、友達関係が広がるよう、一人一人に援助がされていますか。	A
8	・教師が率先して身体を動かすなど、幼児がその楽しさを体験できるよう、働きかけていますか。	A
9	・食事の前や排泄の後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣がつくよう指導していますか。	A
10	・保育活動を通して食べ物に興味・関心を持たせたり、栽培や収穫した食材を使って自分たちで調理したものを食べたりする活動をしったりして、食育に心がけていますか。	A
11	・各年齢のねらいに応じた教師の関わりや環境の構成ができていますか。	A
12	・自分の思ったことを伝え、相手の思っていることにも気付けるよう援助していますか。	A
13	・友達と一緒に遊ぶ経験を通して、友達の良さに気づき、仲間意識を育てる関わりを大切にしていますか。	A
14	・身近な自然を通じて、その美しさ不思議などに気付くよう、幼児と自然との触れ合いを大切にしていますか。	A
15	・絵本や紙芝居など、保育の中で有効に活用し幼児の想像の世界を膨らませたり、ことばの楽しさを味わわせたりしていますか。	A
16	・保護者との連携に心掛け、保護者から気軽に子育ての相談を受ける雰囲気作りができていますか。	B

幼稚園の所見	○ 教育課程や指導計画の見直しを預かり保育の拡充とともに、全職員で行うことが難しくなっている。話し合いの時間を計画的に確保していく必要があった。 ○ 食育において、子どもたちが主体となって、園庭で季節の野菜を育てたり、店に買い物に行ったりした。年間を通して、計画的に進めることができ、調理することや食べることの楽しさを年齢に応じて感じる事ができた。 ○ 保護者との連携では、職員から話しかけ、信頼関係を作る中で、もっと気軽に相談できる雰囲気作りを心掛けていきたい。
--------	---